

販売終了



取扱説明書

No. SM-0651

型 式

AFS $\frac{2}{3}$ - $\frac{0.1}{0.4}$ - 4



の製品をご採用いただきましてありがとうございました。



製品は全て厳しい品質管理のもとで製造されています。

安心してご使用ください。



の製品をより永く効果的にご使用いただくために取付及び保守上の注意事項をこの小冊子にとりまとめています。

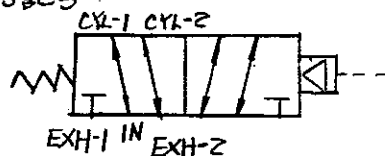


作 動 要 領

パイロット信号 OFF IN $\rightleftharpoons$ CYL-1 / CYL-2 $\rightleftharpoons$ EXH-2 EXH-1 / ----- 止

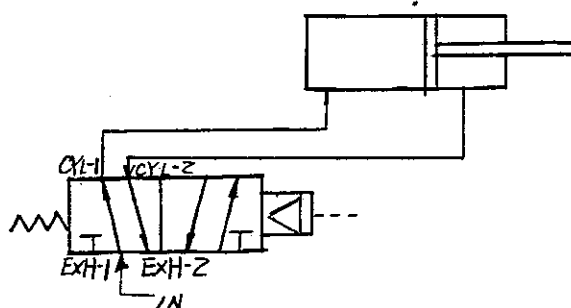
パイロット信号 ON IN $\rightleftharpoons$ CYL-2 CYL-1 / $\rightleftharpoons$ EXH-1 / EXH-2 ----- 止

■ JIS記号

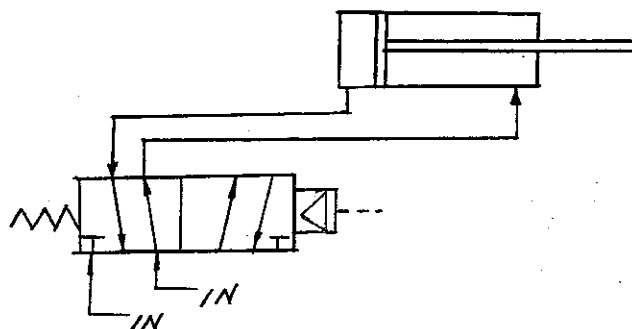


使 用 例

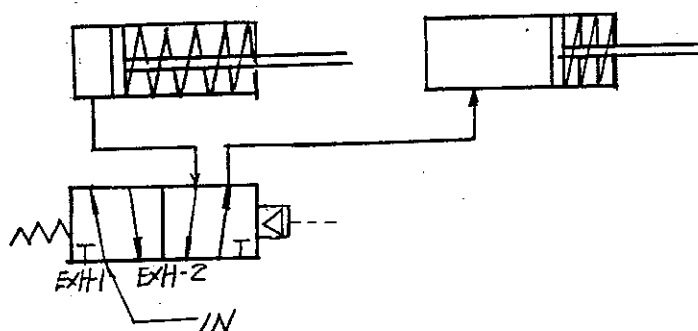
1 両側加圧シリンダーを操作する場合



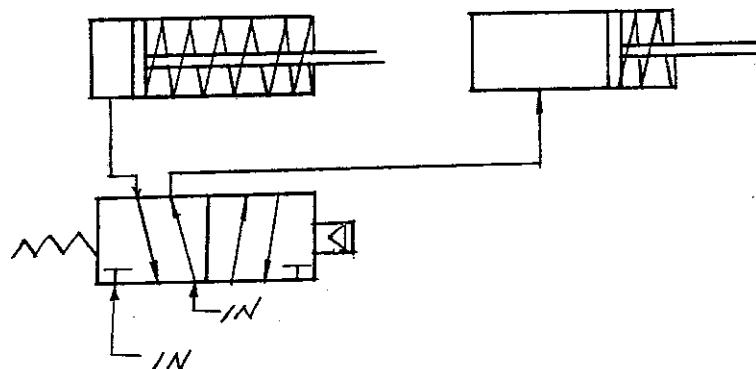
2 2ヶ所の排気ポートよりそれぞれ異つた圧力を入れた場合両側加圧シリンダーに於いて往復の各出口を故意に変えたり又は同一にすることが出来ます。



3 3Wayとして片側シリンダーを交互にあるいはどちらかのシリンダーノケを操作する場合。



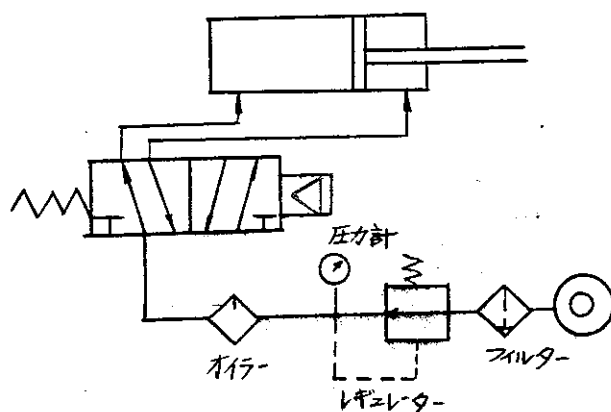
- 4 3Wayとして2ヶ所の排気ポートよりそれぞれ異つた圧力を給気し、片側が圧力シリンダーを交互に操作し各シリンダーの圧力を変えない場合。



5. その他

1. このバルブは2位置弁なるためニュートラルの位置は有りません。
2. シリンダーのスピードコントロールが必要な時は排気側にメタリング（ニードル型式のもの）バルブを接続してください。
3. エア-の信号による作動のほか、バルブ本体に付いているゴムブツシユの上より、ロッド等で押し、手にて作動させることも出来ます。

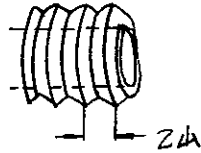
配管、取付



3/6

1. バルブを取付ける前に管路内は出来るだけ清掃してください。

① ゴミ、バリをよく取除いてください。(バルブ取付時研削を行なってください。)



② ネジ2山まではシール剤を付けぬ様にしてください。

2. 弁前にはフィルター及びオイルーを取付けること。（5ミクロン程度のみ）。レゾノコンタクト使用の場合で油の値が良くない場合は、油はタービン油#90を使用してください。（スロトル油マシン油は使用しないでください。）

3. 取付姿勢はスプール（ピストン関係）と取付面が水平になること。

4. 取付時、バルブに無理な力を加えないようにしてください。

5. 取付場所は出来るだけ振動、衝撃の少ない場所に取付けてください。

6. 配管後、各部からの漏れがないかチェックを行ってください。

7. 保守の際に工具が使用出来るスペースを考慮してください。

8. ドレンは板状の心で取ってください。

維持管理

(A) 分解

1. バルブ本体の分解

① ハロッド弁本体を取り外す。

② キャップを外し、バネを取り出す。

③ スプールを抜き取る。

④ スリーブを抜き取る。

⑤ 図参照のこと。(CD-583758, CD-583759)

2. 注意事項

⑦ スプールを抜き取り長く空気中に放置しないでください。

- ② スリーブ、スプールを抜き取る場合、素手にてふれないでゴム手袋等をはめて抜いてください。
(素手にてふれたところから腐蝕する)
- ③ スリーブに付いてはなるべく取り外さない様にしてください。
(O-Ringが切れる)
- ④ 組立てる時はピストン外面及びパネ穴、スリーブの内面にゴミ類を付けない様よく洗浄した上で組立ててください。
- ⑤ キャップおよびパレット本体はかたく止めてください。
(特に高頻度にて使用の時は外れ易い)
- ⑥ 防滴構造に付いていますが屋外で使用する場合には直接雨、水滴等が入らない様に考慮してください。
- ⑦ 周囲雰囲気が悪く場合はできるだけ所塵に心がけてください。
- ⑧ 長期放置した場合は始動時手動にて動作確認してください。(手動装置はオプション装備)
- ⑨ 運転終了時にはできるだけエアー源を止め、エアー抜き、ドレン抜きを行ってください。